

1-1 消化器内科

一般目標（G I O）

プライマリケアに必要な消化器疾患を中心とした内科系疾患の診断治療ができるために、消化管疾患の症状・所見の記載、検査の適応と結果の解釈ができ、そのうえで適切な治療を計画・実践できるようにする。患者を全人的に診療する態度、 およびチーム医療の必要性を十分に配慮した協調と協力の習慣を身につける。また、消化器内科疾患に関連する他科疾患を包含した患者ケア、医療の社会貢献、医療・患者を取り巻く社会背景についても理解する。

行動目標（S B O s）

1. 消化器内科で追加される目標
 - ① 直聴診を含め、腹部の詳細な診察ができる。
 - ② 胃透視、注腸、I C G 負荷試験を自ら行い解釈できる。
 - ③ 各種内視鏡検査の手技を理解し、助手を務めることができる。
2. **基本的検査**について、ここでは特に次にあげるものを取得する。
 - ① 一般尿検査
 - ② 便検査
 - ③ 一般血液検査
 - ④ 動脈血血液ガス分析
 - ⑤ 免疫学的検査
 - ⑥ 細菌検査
 - ⑦ 内視鏡検査
 - ⑧ 超音波検査
 - ⑨ 単純X線検査
 - ⑩ C T 検査
 - 11 M R I 検査
 - 12 核医学検査
 - 13 神経生理学的検査
3. **基本的手技**についてここでは特に次にあげるものを取得する。
 - ① 各種採血
 - ② 腹腔穿刺
 - ③ 胃管の挿入
 - ④ 局所麻酔法
4. **消化器内科で経験すべき症候・疾病・病態**（サマリーと必要事項の記載された用紙を提出）
 - ① 体重減少
 - ② るい瘦
 - ③ 黄疸
 - ④ 発熱
 - ⑤ 意識障害
 - ⑥ 呼吸困難

- ⑦ 吐血
- ⑧ 喀血
- ⑨ 下血
- ⑩ 血便
- 11 嘔気・嘔吐
- 12 腹痛
- 13 便通異常
- 14 終末期の症候
- 15 急性胃腸炎
- 16 胃癌
- 17 消化性潰瘍
- 18 肝炎
- 19 肝硬変
- 20 胆石症
- 21 大腸癌

方略（L S）

1. オリエンテーション
 - ① 目標・スケジュールの確認を行う。
 - ② 病棟等関係部署で自己紹介を行う。
2. 病棟研修
 - ① 上級医とともに担当患者を、毎日回診し、問診、身体診察、検査結果の評価、治療計画の妥当性を検討する。
 - ② 主治医の指導を受けながら、診療情報提供書や各種診断書などの書類、退院時サマリーを記載する。
 - ③ 総回診、カンファレンスでは、担当患者について、簡便に過不足なく提示する。
3. 外来研修
 - ① 上級医の外来診療に同席し、定期受診患者、初診患者の診察。日常生活のマネージメントについて勉強し、疾患に特徴的な症状・診察所見について学習する。
 - ② 受け持ち患者の外来受診に同席し、退院後のフォローについて学習する。
4. 救急外来研修
指導医とともに診察を行い、診断に必要な検査のオーダーとプライマリケアを行う。
5. 各種カンファレンス・勉強会に参加する。
6. 自主学習
 - ① 図書館の書籍、インターネット、DVDも活用して知識（ガイドラインなど）、手技、態度を学ぶ。
 - ② スキルラボにて手技の習得を行う。

評価（E v）

評価は、内科プログラムの評価に従い、観察記録とし、研修医および指導医が1か月毎に行う。

スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	病棟患者管理 超音波・内視鏡 検査	内科・外科合同 カンファランス 超音波検査	病棟患者管理 超音波検査	病棟患者管理 超音波検査	一般外来研修
午後	精 密 検 査 （ERCP・腹部ア ンギオ・CF 等） 消化器カンファ ランス	精密検査 （ERCP・CF 等） 病棟患者管理	精密検査 （ERCP・CF 等） 病棟患者管理	精密検査 （ERCP・CF 等） 病棟患者管理	精密検査 （ERCP・CF 等）